

偲ぶ会

東日本大震災追悼・祈念植樹式

平成二十九年三月十一日（土）

福島県立新地高等学校

式次第

- (一) 開会のことば
- (二) 黙とう
- (三) 校長式辞
- (四) 同窓会長挨拶
- (五) 生徒会長挨拶
- (六) 木柱碑及び説明板除幕
- (七) 木の名前と説明板について
- (八) ろうそく点灯・献花
- (九) 校歌斉唱
- (十) 今後の取り組みについて
- (十一) 閉式のことば

新地高校校歌

一、 朝光の たださす丘べ
遠き祖 拓きしところ
水清く 汗と愛もて
かぐわしき 明日の文化を
創りいでなむ

三、 風光る 磯の松原
とどろくは 潮の高なり
たゆまざる 世紀のいぶき
あらたなる 自由の海を
いざ漕ぎぬかむ

おもひの木

二〇一一年三月十一日午後二時四十六分三陸沖で発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震は最大震度七を記録した本県浜通り北部を八メートルから九メートルの津波が襲い津波は最大六キロまで及び全国の死者は一万六千人を超えた本校の在校生一名と発生十日前に卒業式を終えた八名と数多の同窓生の尊い命が津波の犠牲となった

ここにその悲劇を後輩たちに伝えるとともに
我らが福島県立新地高等学校に集う人々によって
その御霊が永遠に慰め安んじられんことを切に祈念し
万感の想いを込め「おもひの木」と命名した沙羅の木を
謹んで植樹する

二〇一七年三月十一日

福島県立新地高等学校

おもひの木

二〇一一年三月十一日午後二時四十六分三陸沖で発生した平成二十三年東北地方太平洋沖地震は最大震度七を記録した本県浜通り北部を八メートルから九メートルの津波が襲い津波は最大六キロまで及び全国の死者は一万六千人を超えた本校の在校生一名と十日前に卒業式を終えた八名と数多の同窓生の尊い命が津波の犠牲となった

ここにその悲劇を後輩たちに伝える
とともに我らが福島県立新地高等学校
に集う人々によってその御霊が永遠に
慰め安んじられんことを切に祈念し万感
の想いを込め「おもひの木」と命名した
沙羅の木を謹んで植樹する

二〇一七年三月十一日

福島県立新地高等学校

「おもひの木」ポストについて

おもひの木は震災で亡くなった大事な方あての「手紙」を受け付けています。今は会えなくなってしまった大切な方にどうしても届けたい文章を、左記の住所までお届けください。ハガキでも封書でも結構です。また、学校のメールアドレスに電子メールで送信いただくことも可能です。

お送りいただいた文章は本校ホームページ上に公開する他、文集として冊子を刊行したいと考えています。
(なお、個人情報の保護、送り主様の御意向は最優先致します。)

〒979-2703

福島県相馬郡新地町小川字貝塚

西13番地の1

福島県立新地高等学校内

おもひの木 様

shinchi-h@fcs.ed.jp

「おもひの木 様」を件名に入力
下さい。

<http://www.shinchi-h.fks.ed.jp/>

新地高校ホームページ